



最近の県内経済情勢

令和 7 年 11 月 6 日

財務省関東財務局

長野財務事務所

※掲載した経済指標等については速報値を含む。

お問い合わせ先
長野財務事務所財務課
電話番号 026-234-5124

1. 総論

【総括判断】

「県内経済は、持ち直している」

項目	前回（7年7月判断）	今回（7年10月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	➡

(注) 7年10月判断は、前回7年7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

(判断の要点)

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、足踏みの状況にある。

【各項目の判断】

項目	前回（7年7月判断）	今回（7年10月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	➡
生産活動	持ち直しつつある	持ち直しつつある	➡
雇用情勢	足踏みの状況にある	足踏みの状況にある	➡
設備投資	7年度は増加見込みとなっている	7年度は増加見込みとなっている	➡
企業収益	7年度は減益見込みとなっている	7年度は減益見込みとなっている	➡
企業の景況感	「下降」超幅が拡大している	「下降」超幅が縮小している	➡
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	➡

【先行き】

先行きについては、各種政策効果が、景気の持ち直しを支えることが期待される。ただし、物価上昇の継続、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

乗用車の新車登録届出台数は前年を下回っているものの、百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、家電大型専門店販売額、ドラッグストア販売額、ホームセンター販売額は前年を上回っている。このほか、飲食サービスや運輸も緩やかに回復しつつあり、全体として個人消費は、緩やかに回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 物価高の影響は否定できないものの、グルメフェアなどの催事が盛況で、付加価値の高い商品に対する高い消費意欲がみられた。(百貨店・スーパー)
- 今夏は猛暑が続き、飲料や冷やし麺の売れ行きが好調だった。概ね、仕入価格の高騰分を販売価格へ転嫁できており、買上点数は減少傾向にあるものの売上げは好調に推移している。(百貨店・スーパー)
- 観光地近隣店舗は非常に好調で、インバウンドを中心にお土産やアイスクリームの売上げが増加した。(コンビニエンスストア)
- 既存OSのサポートが今年の10月に終了することを受け、パソコンの売れ行きが好調だった。また、エアコンについても連日の猛暑により売上げが伸長した。(家電量販店)
- 今夏は変異株のコロナウイルス「ニンバス」が流行したため、マスクやアルコール消毒といった衛生用品の売れ行きが好調だった。(ドラッグストア)
- 猛暑の影響により冷感仕様の寝具などの暑さ対策商品の需要が堅調で、売上高増加に寄与した。(ホームセンター)
- 企業の懇親会や友人同士の会食などの宴会需要が旺盛だった。(飲食サービス)
- 昨年と比較して、夕立など天気の急変が少なく輸送障害も少なかったことから、旅客収入が好調だった。(運輸)

■ 生産活動 「持ち直しつつある」

鉱工業生産指数を業種別にみると、輸送機械などは下降しているものの、汎用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイス、食料品、電気機械、情報通信機械などは上昇しており、生産活動は、持ち直しつつある。

- 全体の業況感としては横ばいはあるものの、一眼レフカメラ等に使用される交換レンズの売上げが好調で、生産額が増加している。(業務用機械)
- データセンター向け部品の需要が旺盛で、生産量も好調に推移している。(電気機械)
- 半導体基板製品のモデルチェンジを行ったことで性能が向上し、取引先からの受注も好調に推移したため、生産量が増加した。(情報通信機械)

■ 雇用情勢 「足踏みの状況にある」

有効求人倍率が低下し、新規求人数は前年を下回るなど、雇用情勢は、足踏みの状況にあるが、人手不足を感じる企業が多い。

- 従業員は引き続き不足しており、中途採用や社員紹介による採用を継続的に実施している。(製造)
- 人材不足により店舗への人員配置が不十分で、アプリを利用した短期・単発アルバイトで対応している店舗もある。人員を確保したい一方、最低賃金引上げによる人件費の増加を懸念しており、自動音声電話の導入など事務の効率化に資する取組を推進している。(小売)
- 恒常的な人手不足が続いており、必要に応じて派遣社員の募集や中途採用を行っている中、例えば、リモート会議の活用を推進し、出張時に要する移動時間を削減するなどの工夫を行っている。(建設)

■ 設備投資 「7年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」7年7~9月期

法人企業景気予測調査(7年7~9月期調査)で7年度の設備投資計画をみると、製造業は前年比9.9%の増加見込み、非製造業は同0.3%の減少見込み、全産業では同5.6%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「7年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」7年7~9月期

法人企業景気予測調査(7年7~9月期調査)で7年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比▲34.4%の減益見込み、非製造業では同9.0%の増益見込み、全体では同▲23.0%の減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超幅が縮小している」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」7年7~9月期

法人企業景気予測調査(7年7~9月期調査)の企業の景況判断BSIをみると、全規模・全産業で「下降」超幅が縮小している。先行きについては、7年10~12月期に「上昇」超に転じる見通しどうしている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

新設住宅着工戸数は、貸家が前年を上回っているものの、持家、分譲住宅が前年を下回っており、全体として前年を下回っている。

最近の県内経済情勢

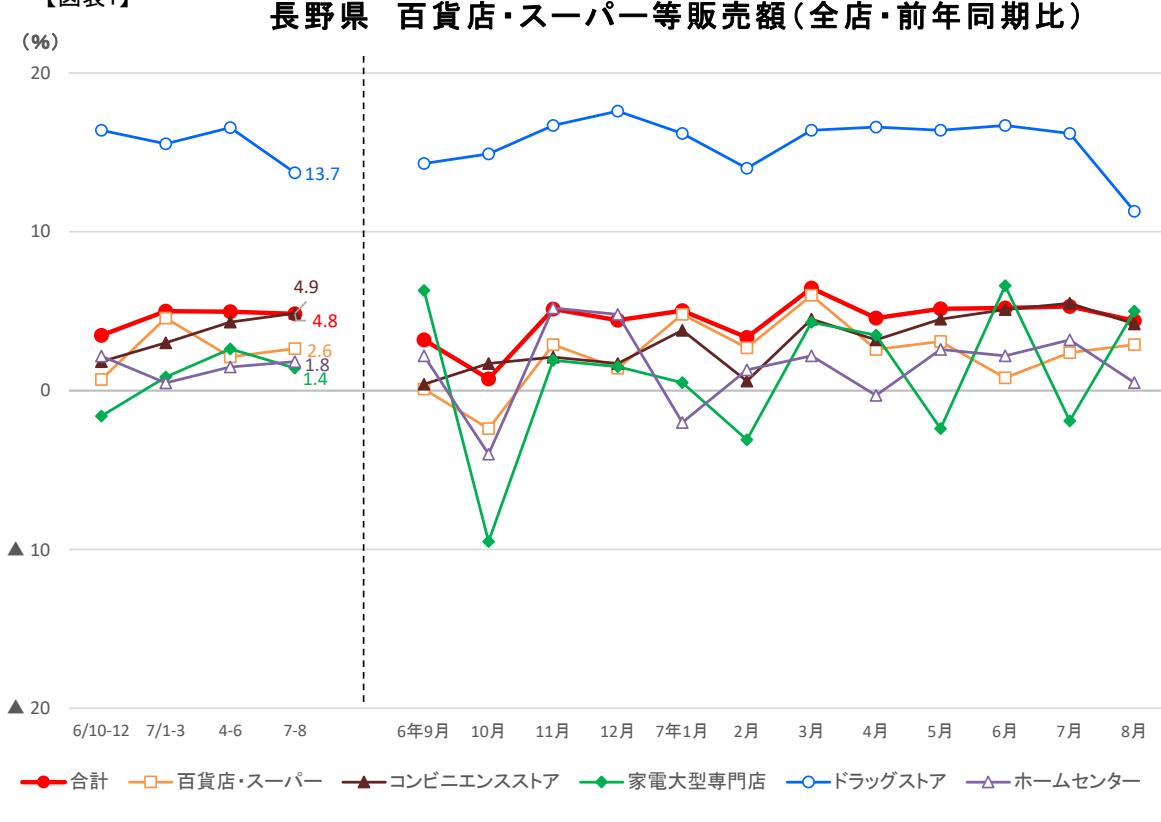
資料編

令和7年11月6日
財務省関東財務局
長野財務事務所

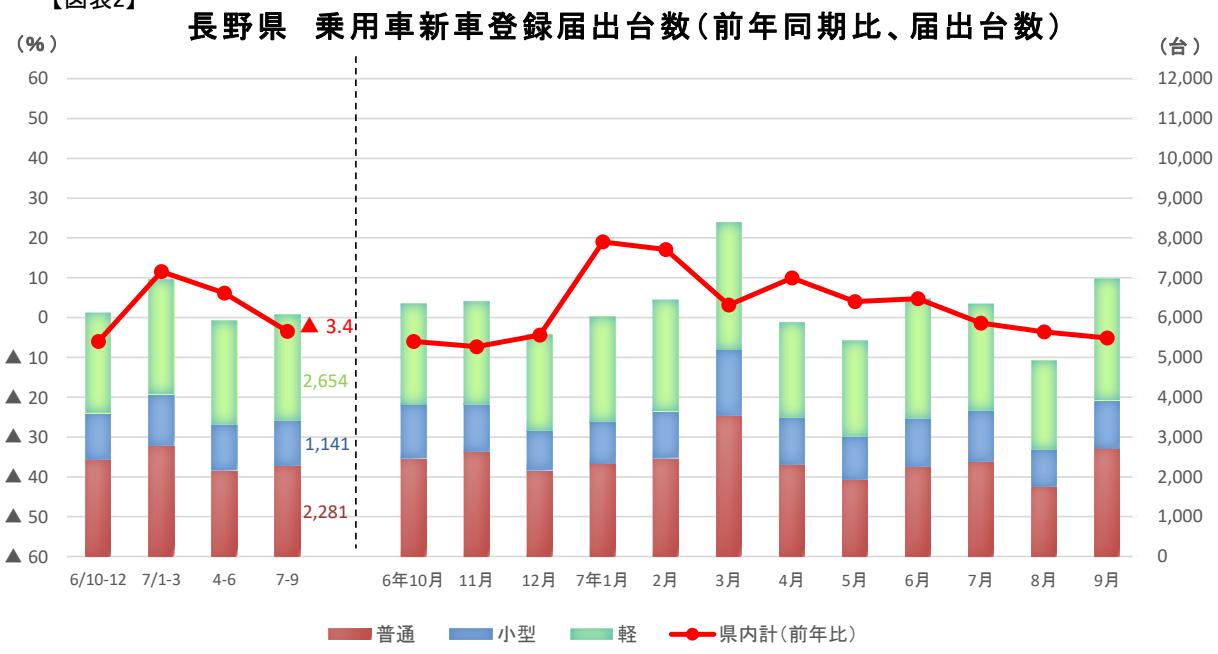
1. 個人消費

緩やかに回復しつつある

【図表1】



【図表2】

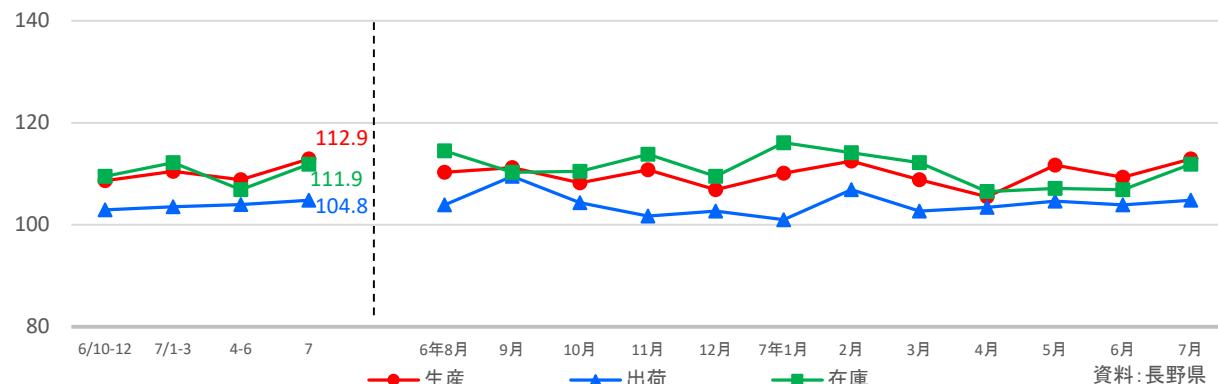


2. 生産活動

持ち直しつつある

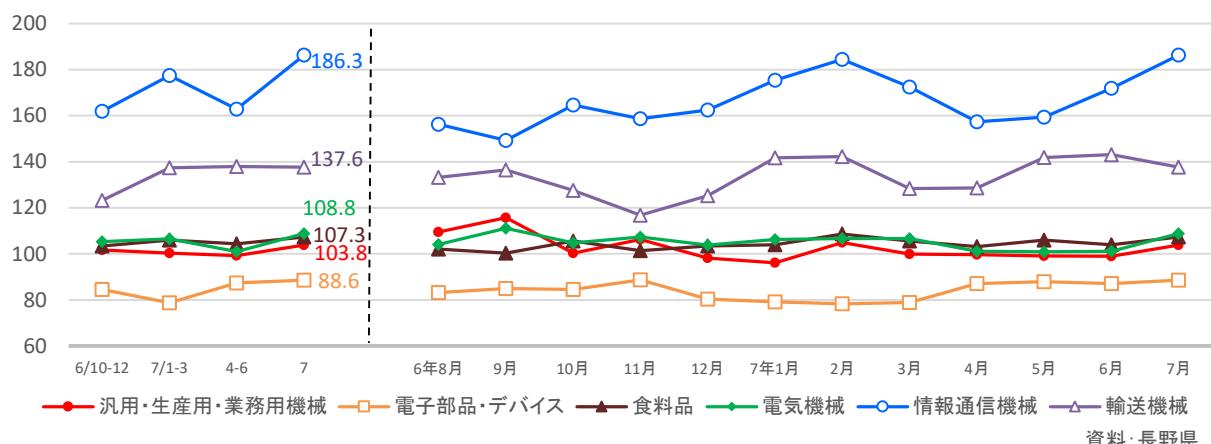
【図表3】

長野県 鉱工業指数(季節調整値・R2=100)



【図表4】

長野県 業種別鉱工業生産指数(季節調整値・R2=100)



3. 雇用情勢

足踏みの状況にある

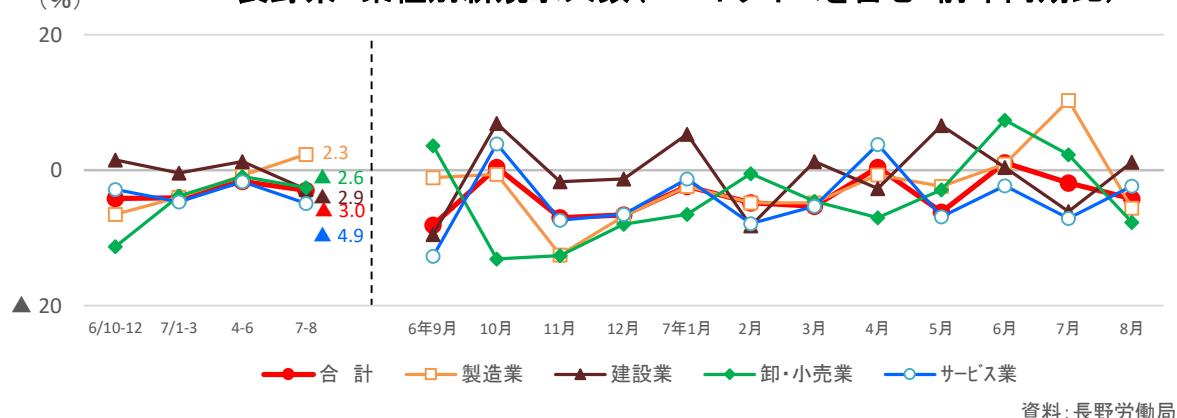
【図表5】

有効求人倍率(季節調整値)



(%)

長野県 業種別新規求人数(パートタイムを含む・前年同期比)



4. 企業収益・設備投資

企業収益: 7年度は減益見込みとなっている

設備投資: 7年度は増加見込みとなっている

【図表7】

企 業 収 益 ・ 設 備 投 資

(前年比増減率: %)

	売 上 高	経 常 利 益 (受取配当金を除く)	設 備 投 資
全規模・全産業	1.7 (1.5)	▲ 23.0 (▲ 4.6)	▲ 22.6 (▲ 4.4)
大 企 業	2.5 (1.8)	▲ 31.2 (▲ 7.9)	▲ 32.6 (▲ 11.4)
中 堅 企 業	0.1 (0.5)	1.7 (6.7)	6.9 (11.4)
中 小 企 業	1.1 (▲ 0.0)	▲ 8.1 (7.6)	▲ 7.9 (10.9)
製 造 業	0.5 (1.0)	▲ 34.4 (▲ 4.5)	▲ 35.9 (▲ 4.8)
非 製 造 業	2.9 (2.7)	9.0 (▲ 5.0)	11.9 (▲ 3.3)

(注)1.()書は前回(7年4~6月期)調査結果

2.売上高、経常利益は「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」を除いたもの

資料:長野財務事務所
「法人企業景気予測調査(令和7年7~9月期調査)」

5. 企業の景況感

「下降」超幅が縮小している

企 業 の 景 況 判 断 B S I

(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

【図表8】

(単位: %ポイント)

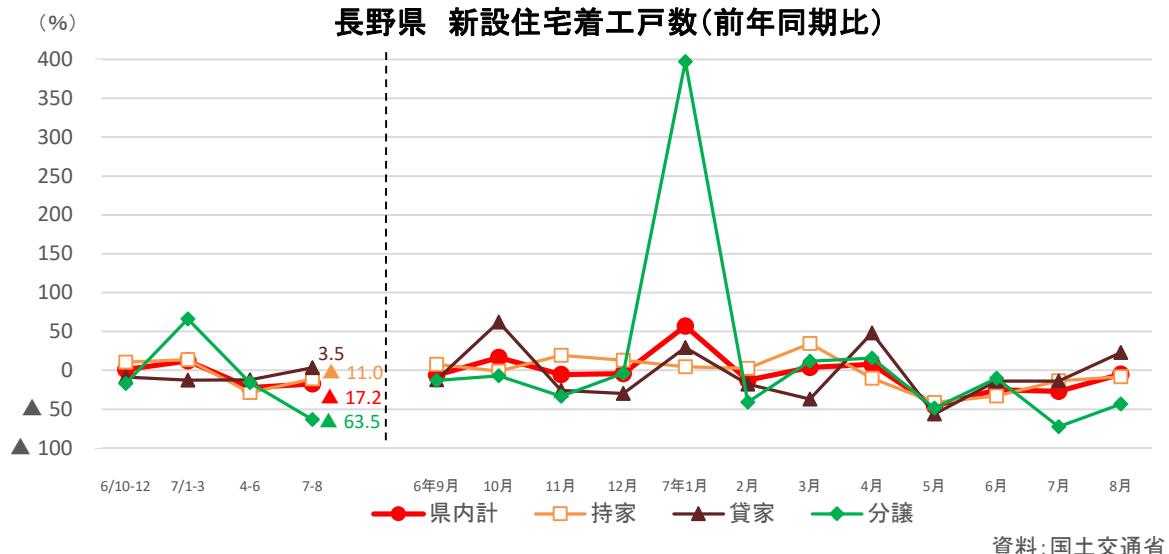
	7 年 4 ~ 6 月	7 年 7 ~ 9 月	7 年 10 ~ 12 月	8 年 1 ~ 3 月
全 規 模 ・ 全 产 業	(▲ 12.1)	▲ 1.4 (7.4)	2.7 (1.3)	▲ 4.8
大 企 業	(▲ 2.6)	17.6 (7.9)	▲ 2.9 (2.6)	5.9
中 堅 企 業	(▲ 5.7)	20.0 (14.3)	17.1 (2.9)	2.9
中 小 企 業	(▲ 19.7)	▲ 19.2 (3.9)	▲ 1.3 (0.0)	▲ 12.8
製 造 業	(▲ 9.0)	6.1 (11.9)	▲ 1.5 (3.0)	▲ 3.0
非 製 造 業	(▲ 14.6)	▲ 7.4 (3.7)	6.2 (0.0)	▲ 6.2

(注)()書は前回(7年4~6月期)調査結果

資料:長野財務事務所
「法人企業景気予測調査(令和7年7~9月期調査)」

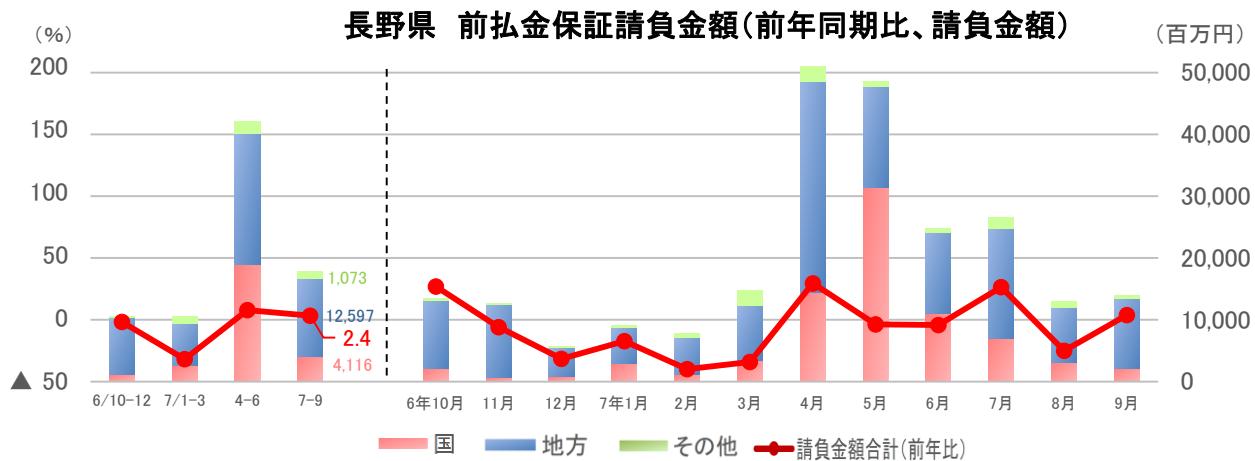
6. 住宅建設

【図表9】



(参考)公共工事

【図表10】



(参考)倒産

【図表11】

